買い物お助けロボ考案

プラタップさん(大山小)全国へ

こどもプログラミング発表

グランプリに輝いたプラタップアリーシャさん=15日、那覇市の那覇文化芸術劇場なはーと

デジラボおきなわ実行委員会(代表企業・プラズマ)は15日、小学生を対象にプログラミングを用いた作品やアイデアなどを競う「デジラボおきなわ こどもIT・プログラミング発表会」(琉球大学教育学部、琉球新報社、LEAPDAY実行委員会共催)を那覇市の那覇文化芸術劇場なはーとで開催した。

「みんなのみらい、みんなでつくろう」をテーマに、応募者25チームのうち8チーム10人が事前に制作したプレゼンテーション動画を発表。大山小学校3年のプラタップアリーシャさんがグランプリに輝いた。

プラタップさんは、家族でコストコに行った際、広い店内で困った経験から「コストコお助けロボット・コスロボ」を考案。売り場を案内したり、トイレの場所を教えたり、いろいろな言語で話したりするなど快適に買い物ができるさまざまなコスロボを考えた。ヘルプボタンを押すとコスロボがやって来る試作品を作った。

プラタップさんは「試作品を完成させることが難しかったが、コスロボのイメージを形にしていくことが楽しかった」と話した。プラタップさんは、来年3月に東京都で開かれる「全国選抜小学生プログラミング大会」に県代表として出場する。会場では、著作権について学ぶ映像とパネル展示もあった。

(豊浜由紀子)

無断複製・転載を禁じます